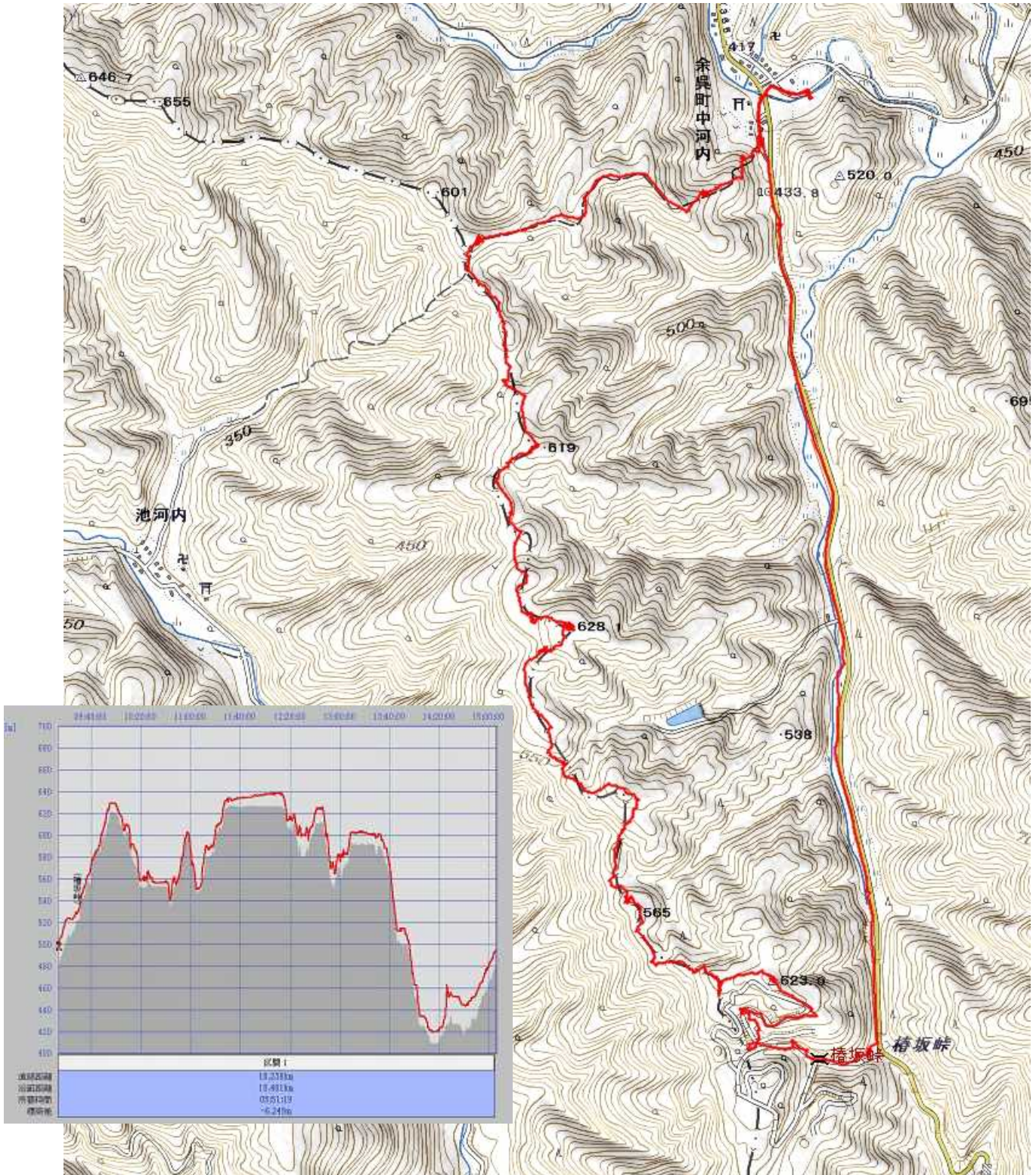


2014年6月10日 湖北余呉トレール 江越国境中央分水嶺
京都山の会 例会参加 5名(L:横田)

コース距離: 10.4 km 所要時間: 5時間51分(休憩含む)

コースタイム: 車駐車場所9:14 9:20国道入口 9:28椿坂峠 9:55椿井嶺(△623m)
10:26 565m地点 11:30津谷山(△628m)12:13 12:41 619m地点
13:04庄野嶺越 14:05中河内 15:05車駐車場所

山行軌跡 と 行程表



* アプローチ

阪急水無瀬で横田氏を乗せて京都へ、京都で3名を乗せて湖西道路経由で木之本からR365で椿坂峠に、9時頃に峠近くの国道の広い敷地に車を止める。

* 山行記

梅雨の合間、雨が降らないことを願いながらの江越国境中央分水嶺の山歩き、幸い登山中は雨に降れなく歩くことが出来た。

国道脇に車を置き9時14分歩き出し横道に入る、この辺りはコテージが使われている様子はなく廃墟となっている。

リーダーは木々や花の名前等に詳しい人で説明しながらゆっくり歩いて行く。

横道は複雑につけられ迷い易いが道の横に623m△椿井嶺が位置している事をリーダーが地図を読み解き入っていく、すぐに4等三角点を見つけ出す。

江越国境の尾根を目指して進んでいくコテージ廃墟の横をすり抜けていくが行き過ぎたようで少し戻り尾根にたどり着く。

尾根には歩かれている道が、跡を頼りに進むことが出来たので藪漕ぎも楽であったが足元が見えなくて木の根に足を引っ掛けてしまうことも。

尾根でも周りは灌木で隙間からしか遠望できないが、灌木はカエデや樺が多くあり緑が美しく、紅葉の時期も期待できるところ。

11時30分津谷山(△628m 山名は標識より)に到着し食事休憩を摂る。

12時13分 庄野嶺越を目指して行き下山中の山道にコアジサイがたくさん咲いていた14時5分中河内に下山する。

中河内地区にざぜん草の群生地が在るようで場所を確認して車駐車場所に15時5分帰り着き帰途に着く。



参加メンバー



椿井嶺三角点



国境中央分水嶺を歩く

花関係



樹林(カエデ・ブナ林)



中河内の下山口(登山口)

